



総務課 課長代理

油布 行美さん

Q1

これまでの業務内容を教えてください。

製造と総務で畑違いの仕事を経験。

入社して18年間は加工品の製造の部署で、ラベルを貼ったり流れてくる商品を箱入れしたりという仕事をしていました。その後、総務課で労務関係の仕事に携わり、給料計算や社会保険関係の事務整理を行っています。製造の時は目視検査に気を遣いましたが、総務課では書類や数字を間違えてはいけない難しさはありますね。2人で500人近い人の給料を見るとあって、最初は大変でした。総務課に異動してからは主任、係長、課長代理という役職がついて、課に所属する部下の仕事の確認作業なども増えたので、そういう意味でも責任感が増えました。

愛着のある地元で就職したかった。
結婚後もずっと働きたかったんです。

Q2

ご結婚や子育ては？

加工品の製造部で働いていた時に職場結婚をし、2人の子を出産しましたが、入社した時から産休・育休制度がしっかり整っていて、夫の転勤などの事情がない限りは皆辞めないという雰囲気のできていたのも、産休育休などの抵抗も全くありませんでした。復帰後も、健康診断を受けるための特別休暇などを取得するのが当たり前という空気を先輩がつくってくれていました。まわりの方たちも協力してくれたので、急な休みでもとりづらいつと感じたことはありませんでした。



「今後の目標や、やってみたい仕事は？」
「労務管理や就業規則の知識をふまえて、人事関係の仕事に取り組んでみたいと思います。あとは、他企業との交流をもっと若い社員に勧めたいですね。自分の会社のいい部分も見えてくるので。」

1日のスケジュール

5:20	起床 洗濯、自分の準備、娘のお弁当作りは夫が担当!
7:30	出勤
8:00	朝礼
9:00	労務管理や経理関係の業務を行います。管理職との打ち合わせや会議なども。
12:00	昼休み
13:00	
14:00	
15:00	
16:00	
17:00	退勤
18:00	帰宅 夕食作り
19:00	夕食
20:00	夫とウォーキングに行くことも
21:00	家族との会話を大切にするので、ほとんどテレビはつけません。
22:30	就寝

通勤は軽くウォーキングをしながら



My Best Item
「おおいた歩特」のアプリ。ミッションを達成していくのが楽しくて、同僚や家族も巻き込んでいます。

Message

これから先に働く人のことも視野に入れてください

自分の子どもを入社させたいような会社を目指すのが一番だと思います。そうすると、自分の会社を好きにならなければいけない。そのためには働きやすいことが前提です。必要な制度がなければ自分から発信してつくっていくのも一つの道ですし、制度があるなら、遠慮せずに使わなければ風化していくので、そこも意識して欲しいですね。これから後に働く人のためにも、大切なことだと思います。

Q3

ご自身の子育ての経験をふまえ、仕事上で意識されていることは？

私が出産した時、総務課に女性がなくて男性のみだったのですが、もう少し産休の前後に手厚く制度などの説明をして欲しかったという思いがあります。ですので、産休に入る人がいれば、所属する部署の課長と本人と総務課を交えて、出産予定日と、仕事への配慮への話し合いをしています。つわりの具合なども見て、特に製造現場は滑ったり重たいものを持つので、まわりが気を付けなければいけません。初めて自分の職場に出産する社員がいた場合は、管理職の方にも改めて制度の再確認をしてもらうようにしています。

職場復帰の時は、1年間も休むと本人も不安になるので、育休明けの1カ月ほど前を目安に連絡をとります。保育園が決まったかの確認であったり、少し入社してもらい、管理職から現在の職場の様子や復帰して携わる仕事を伝えてもらったりします。復帰すると子どもがすぐに熱を出すことも多いので、すぐに1名プラスという意識ではなく、余裕をもって見守って欲しいと管理職に伝えます。子どもが小さい頃は本当にわすかなので、その期間だけでも会社が子育て中心になってバックアップをすれば、また会社に貢献してもらえますから。



フドーキン醤油株式会社
住所：大分県臼杵市大字臼杵501
業種：製造業
従業員数：500人
(男性360人・女性140人)

期間内(令和3年4月1日～令和8年3月31日)の
全採用人数に対する女性比率を20%以上とする。

対策

- ① 女性従業員にとって働きやすさに資する制度(既存の制度含む)にはどのようなものがあるかヒアリングを行い、その情報をもとに制度の導入・改善等を行う。
- ② 求職者に対する制度の積極的な広報を実施し女性求職者を増やす。
- ③ 女性未所属部門等、女性従業員の配属の見直しを行う。